2026 年 3 月 16 日
一般社団法人日本損害保険協会 近畿支部

ジブンゴトとして考える！
京都府「防災・減災セミナー」を開催

日本損害保険協会近畿支部京都損保会（会長：白髪 憲司 三井住友海上火災保険株式会社 京都支店長）では、京都府、一般社団法人京都損害保険代理業協会、京都府損害保険代理業協同組合と連携し、3 月 8 日（日）に京都市内で京都府「防災・減災セミナー」を開催し、113 名（会場 59 名、オンライン 54 名）が参加しました。

開会にあたり、日本損害保険協会近畿支部京都損保会の 白髪 憲司 会長から、「本セミナーは 2021 年に京都府と締結した損害保険に関する防災連携協定に基づき開催することとなった。一人ひとりがジブンゴトとして防災・減災に向き合うきっかけにしてほしい。」と挨拶がありました。

最初の講演では、京都府の 万所 ルミ 危機管理監付企画参事から、京都府の自然災害リスクと被害想定、京都府の減災目標や取組みについて講演があり、「備蓄は自分への推し活」として災害が起こったときの自分への応援グッズとして、「ある」と嬉しいものや必需品を揃えておくとよいとのコメントがありました。

基調講演では、京都大学防災研究所巨大災害研究センターの 矢守 克也 教授から、「ふだん」の暮らしの中に「まさか」のときの備えを組み込む「生活防災」の考え方について講演があり、「動ける体が一番の防災グッズ」であり、高齢者等が避難する際の体力づくりを目指す「防災リハビリ教室」を開催した事例等が紹介されました。

その後、コーディネーターの齊藤 健一郎（日本損害保険協会シニアアドバイザー）の進行のもと、矢守 克也 氏、万所 ルミ 氏、宇田川 智弘（日本損害保険協会常務理事）の 3 名のパネリストとともに、「自然災害から家族を守る！仲間を守る！地域を守る！」をテーマに、生活の中でどのような行動や習慣をもって防災・減災を考えていけばよいのかについて、パネルディスカッションを行いました。

閉会にあたり、京都府の 南本 尚司 危機管理監兼危機管理部長から、「京都府の減災目標の死者ゼロを目指すためには、公助だけでなく自助と共助がないと成り立たない。まずは、自分は何ができるのか家族等の身近なところから話を広げてほしい」と挨拶がありました。

当支部では、今後も、こうしたセミナー等を通じて、個人や家族、地域等の防災・減災力の向上に取り組んでまいります。

白髪損保会長（開会挨拶）

万所企画参事（講演）

矢守教授（基調講演）

南本危機管理監（閉会挨拶）

パネルディスカッションの様子

齊藤シニアアドバイザー

宇田川常務理事

ジブンゴトとして考える！京都府「防災・減災セミナー」
～自然災害から家族を守る！仲間を守る！地域を守る！～

【開催概要】
- 日　時：2026 年 3 月 8 日（日）14 時 30 分～16 時 30 分
- 会　場：京都テルサ東館 3 階 B・C 会議室（京都市南区東九条下殿田町 70 番地）
- 主　催：京都府、一般社団法日本損害保険協会近畿支部京都損保会
- 共　催：一般社団法人京都損害保険代理業協会、京都府保険代理業協同組合

【プログラム】
- 開会挨拶：一般社団法人日本損害保険協会 近畿支部 京都損保会長　白髪 憲司
- 講　演
  「京都府の防災・減災の取組みについて」京都府危機管理監付企画参事　万所 ルミ 氏
- 基調講演
  「備えて安心！生活防災のすすめ」京都大学防災研究所巨大災害研究センター教授　矢守 克也 氏
- パネルディスカッション
  「自然災害から家族を守る！仲間を守る！地域を守る！」
  パネリスト：京都大学防災研究所巨大災害研究センター教授　矢守 克也 氏
  京都府危機管理監付企画参事　万所 ルミ 氏
  一般社団法人日本損害保険協会常務理事　宇田川 智弘
  コーディネーター：一般社団法人日本損害保険協会シニアアドバイザー　齊藤 健一郎
- 閉会挨拶：京都府危機管理監兼危機管理部長　南本 尚司氏